

平成27年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input checked="" type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	津山美由紀
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3352
事務事業名	4112 健康増進事業						
所 属	100600 健康福祉部・健康づくり課						
施 策	01010100 健康づくりの充実						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	040103 衛生費・保健衛生費・健康づくり推進費					
	事業	020000 健康増進事業					
事業目的				事業概要・効果			
自らの健康づくりを実践する市民を増やす。				「生涯健康都市すざか」を目指し、市民1人ひとりが「自分の健康は、自分でつくり守る」ために健康増進に関わる事業を実施する。健康に対する意識を持ち実践する市民を増やすことで、生涯にわたり健康で暮らせる須坂市を目指す。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
おでかけ健康教室やウオーキング教室等の開催 健康まつりの開催 食育事業の実施	おでかけ健康教室やウオーキング教室等の開催 健康まつりの開催 食育事業の実施
平成24年度 実績	平成25年度 実績
おでかけ健康教室やウオーキング教室等の開催 健康まつりの開催 食育事業の実施	おでかけ健康教室やウオーキング教室等の開催 健康まつりの開催 食育事業の実施
平成26年度 実績	平成27年度 予定
全地域公民館とおでかけ健康教室を開催 健康まつりの開催 食育事業の実施 須坂エクササイズの推進	全地域公民館とおでかけ健康教室、健康まつりの開催、食育事業の実施 健康長寿発信都市「須坂JAPAN」創生プロジェクトの実施－須坂エクササイズ出前講座、健康おすそわけツアー など

指標名	各世代(ライフサイクル)に応じた健康増進事業の実施				
算式	各種健康教室、講演会に、健康相談などへ参加した人数				単位 人
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				9,500
	実績	15,876	15,960	16,283	16,807
指標選定の理由	個々人で取り組んでいる人の把握は困難であるため、健康教室等の参加実績を使用する				
最終年度 目標の根拠	21年度の実績を基に算出				
指標名	健康づくりキャンペーン事業の推進				
算式	累計表彰者数				単位 人
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				100
	実績	85	158	245	286
指標選定の理由	体重計に乗ろう事業実践者数				
最終年度 目標の根拠	21年度の実績を基に算出				
指標名	食育に関する教室への参加				
算式	事業参加者数				単位 人
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				3,800
	実績	3,113	4,350	5,254	4,972
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠	21年度の実績を基に算出				

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		6,845	4,026
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	875	423
	地方債	0	0
	その他	83	68
一般財源		5,887	3,535
人員数 (人)	正規職員	1.8	2.5
	嘱託職員	2.9	2.8
	臨時職員	0.1	0.4
人員 コスト	正規職員	12,344.4	17,145.0
	嘱託職員	7,902.5	7,630.0
	臨時職員	117.7	470.8
	計	20,364.6	25,245.8
市民一人当たりの経費		0.5	0.6
総額		27,209.6	29,271.8

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	740	健康教室講師謝礼 健康づくり継続実践者賞賜金
11節 需用費	3,535	健康教室、食育事業事務用品 健康カレンダー、ウォーキングマップ印刷製本費
13節 委託費	645	おでかけ健康教室 尿中塩分測定検査
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	1,459	健康まつり実行委員会負担金 食育推進全国大会出展負担金
その他	466	

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	610	健康教室講師謝礼 健康づくり継続実践者賞賜金
11節 需用費	2,172	健康教室、食育事業事務用品 健康カレンダー、ウォーキングマップ印刷製本費
13節 委託費	201	おでかけ健康教室 尿中塩分測定検査
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	742	健康まつり実行委員会負担金 研修会負担金
その他	301	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	健康増進に継続して取り組めるように	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	体重計に乗ろう事業、健康ウォーカーズ事業など、個人で取り組めるものや健康教室など集団で参加する講座など自分で選択できる内容になっている	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	健康教室など見直し、事業費は削減されている	

振り返り（決算年度の取組み課題）

26年度は各地域公民館と協力し、おでかけ健康教室を開催。運動、食について学ぶ内容とした。27年度は、口腔衛生も含めた内容で多方面から学ぶ教室を計画していく。健康増進事業については、市民への周知の工夫が必要。健康長寿発信都市「須坂JAPAN」創生プロジェクトでは、今ある健康づくりの取組みをさらに進め、地域に潜在する宝をつなぎ合わせ外への発信していくことを目的に事業を進めていきます。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

子どもから大人までの健康づくり事業について周知し、取り組み者を増やすことが必要。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

関係機関と連携を図り、効果的な事業実施をする。

外部評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
-----------	-----------

外部評価コメント

「須坂JAPAN」は始まったばかりで認知度も低いが、情報提供をし成果が見えてくると、市民の意識も変わり良い循環が生まれる。「心の健康」については、予防や防止だけでなく、心をより良く豊かにすることにも注力していただきたい。